

令和 6 年 4 月 22 日

一般社団法人日本建設業連合会
会 長 宮 本 洋 一 様

一般社団法人全国鐵構工業協会
会 長 永 井 毅

鉄骨製作図問題の是正・解消に向けたお願い（要望書）

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会並びに構成員である鉄工所等各社（以下「鉄骨ファブ」といいます。）に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ご承知のとおり、建設業界でも技術者不足と建設コスト高騰の問題が深刻化しており、特に 2024 年問題により技術者の不足は一層深刻さを増すと予想されています。また、技術者の確保の観点からも、適正なコストの分担（価格転嫁）にも注目が集まっています。

私ども鉄骨ファブも、例外なく厳しい状況です。法令遵守の下、品質・安全を確保し、従業員を守りながら 2024 年問題を乗り越えていくためには、抜本的な業務改善やコスト上の問題の解決が不可欠と考え、強い危機感をもって取り組んでおります。

その一環として、今般、鉄骨ファブの業務・コストの両面に関わる重大問題として、鉄骨製作図の作成に関する諸問題を調査、検討し、添付の要望書の作成に至りました。本問題で特に是正・解消が必要と考えているのは、以下の 3 点です。

- ・鉄骨製作図の作成において「もの決め工程」が遵守されず、承認・確定が遅延していること（それによって鉄骨製作（及び建方）の期間が圧迫されている）
- ・鉄骨製作図の基になる設計図書が不足又は未確定で、設計変更・変更指示が多用されていること（もの決め工程の遅延、鉄骨製作図等の手戻りの原因）
- ・上記の問題による工程遅延、鉄骨製作図の手戻り（業務量の増加）が下請契約（工程、下請代金額）に反映されず、鉄骨ファブの負担とされていること

本問題を皆様方に知っていただき、是正・解消に向けたご理解とご協力をいただきたく、本書をもってお願いする所存です。詳細につきまして、添付の要望書をお読みいただき、ご検討いただきますようお願いいたします。

当協会並びに構成員一同、これからも建設業界や社会の皆様方の要望に応え続けるよう全力を尽くしてまいります。皆様方におかれましても、本問題の是正・解消に向けたご理解とご協力のほど、何卒、よろしくお願い申し上げます。

敬具

令和 6 年 4 月 22 日

一般社団法人 全国建設業協会
会 長 奥 村 太 加 典 様

一般社団法人全国鐵構工業協会
会 長 永 井 毅

鉄骨製作図問題の是正・解消に向けたお願い（要望書）

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会並びに構成員である鉄工所等各社（以下「鉄骨ファブ」といいます。）に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ご承知のとおり、建設業界でも技術者不足と建設コスト高騰の問題が深刻化しており、特に 2024 年問題により技術者の不足は一層深刻さを増すと予想されています。また、技術者の確保の観点からも、適正なコストの分担（価格転嫁）にも注目が集まっています。

私ども鉄骨ファブも、例外なく厳しい状況です。法令遵守の下、品質・安全を確保し、従業員を守りながら 2024 年問題を乗り越えていくためには、抜本的な業務改善やコスト上の問題の解決が不可欠と考え、強い危機感をもって取り組んでおります。

その一環として、今般、鉄骨ファブの業務・コストの両面に関わる重大問題として、鉄骨製作図の作成に関する諸問題を調査、検討し、添付の要望書の作成に至りました。本問題で特に是正・解消が必要と考えているのは、以下の 3 点です。

- ・鉄骨製作図の作成において「もの決め工程」が遵守されず、承認・確定が遅延していること（それによって鉄骨製作（及び建方）の期間が圧迫されている）
- ・鉄骨製作図の基になる設計図書が不足又は未確定で、設計変更・変更指示が多用されていること（もの決め工程の遅延、鉄骨製作図等の手戻りの原因）
- ・上記の問題による工程遅延、鉄骨製作図の手戻り（業務量の増加）が下請契約（工程、下請代金額）に反映されず、鉄骨ファブの負担とされていること

本問題を皆様方に知っていただき、是正・解消に向けたご理解とご協力をいただきたく、本書をもってお願いする所存です。詳細につきまして、添付の要望書をお読みいただき、ご検討いただきますようお願いいたします。

当協会並びに構成員一同、これからも建設業界や社会の皆様方の要望に応え続けるよう全力を尽くしてまいります。皆様方におかれましても、本問題の是正・解消に向けたご理解とご協力のほど、何卒、よろしくお願い申し上げます。

敬具

令和 6 年 4 月 22 日

国土交通省 不動産・建設経済局
建設業課長 岩下 泰善 様

一般社団法人全国鐵構工業協会
会長 永井 毅

鉄骨製作図問題の是正・解消に向けたお願い（要望書）

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会並びに構成員である鉄工所等各社（以下「鉄骨ファブ」といいます。）に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ご承知のとおり、建設業界でも技術者不足と建設コスト高騰の問題が深刻化しており、特に 2024 年問題により技術者の不足は一層深刻さを増すと予想されています。また、技術者の確保の観点からも、適正なコストの分担（価格転嫁）にも注目が集まっています。

私ども鉄骨ファブも、例外なく厳しい状況です。法令遵守の下、品質・安全を確保し、従業員を守りながら 2024 年問題を乗り越えていくためには、抜本的な業務改善やコスト上の問題の解決が不可欠と考え、強い危機感をもって取り組んでおります。

その一環として、今般、鉄骨ファブの業務・コストの両面に関わる重大問題として、鉄骨製作図の作成に関する諸問題を調査、検討し、添付の要望書の作成に至りました。本問題で特に是正・解消が必要と考えているのは、以下の 3 点です。

- ・鉄骨製作図の作成において「もの決め工程」が遵守されず、承認・確定が遅延していること（それによって鉄骨製作（及び建方）の期間が圧迫されている）
- ・鉄骨製作図の基になる設計図書が不足又は未確定で、設計変更・変更指示が多用されていること（もの決め工程の遅延、鉄骨製作図等の手戻りの原因）
- ・上記の問題による工程遅延、鉄骨製作図の手戻り（業務量の増加）が下請契約（工程、下請代金額）に反映されず、鉄骨ファブの負担とされていること

本問題を皆様方に知っていただき、是正・解消に向けたご理解とご協力をいただきたく、本書をもってお願いする所存です。詳細につきまして、添付の要望書をお読みいただき、ご検討いただきますようお願いいたします。

当協会並びに構成員一同、これからも建設業界や社会の皆様方の要望に応え続けるよう全力を尽くしてまいります。皆様方におかれましても、本問題の是正・解消に向けたご理解とご協力のほど、何卒、よろしくお願い申し上げます。

敬具

令和 6 年 4 月 22 日

中小企業庁 事業環境部
取引課長 鮫島 大幸 様

一般社団法人全国鐵構工業協会
会長 永井 毅

鉄骨製作図問題の是正・解消に向けたお願い（要望書）

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会並びに構成員である鉄工所等各社（以下「鉄骨ファブ」といいます。）に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ご承知のとおり、建設業界でも技術者不足と建設コスト高騰の問題が深刻化しており、特に 2024 年問題により技術者の不足は一層深刻さを増すと予想されています。また、技術者の確保の観点からも、適正なコストの分担（価格転嫁）にも注目が集まっています。

私ども鉄骨ファブも、例外なく厳しい状況です。法令遵守の下、品質・安全を確保し、従業員を守りながら 2024 年問題を乗り越えていくためには、抜本的な業務改善やコスト上の問題の解決が不可欠と考え、強い危機感をもって取り組んでおります。

その一環として、今般、鉄骨ファブの業務・コストの両面に関わる重大問題として、鉄骨製作図の作成に関する諸問題を調査、検討し、添付の要望書の作成に至りました。本問題で特に是正・解消が必要と考えているのは、以下の 3 点です。

- ・鉄骨製作図の作成において「もの決め工程」が遵守されず、承認・確定が遅延していること（それによって鉄骨製作（及び建方）の期間が圧迫されている）
- ・鉄骨製作図の基になる設計図書が不足又は未確定で、設計変更・変更指示が多用されていること（もの決め工程の遅延、鉄骨製作図等の手戻りの原因）
- ・上記の問題による工程遅延、鉄骨製作図の手戻り（業務量の増加）が下請契約（工程、下請代金額）に反映されず、鉄骨ファブの負担とされていること

本問題を皆様方に知っていただき、是正・解消に向けたご理解とご協力をいただきたく、本書をもってお願いする所存です。詳細につきまして、添付の要望書をお読みいただき、ご検討いただきますようお願いいたします。

当協会並びに構成員一同、これからも建設業界や社会の皆様方の要望に応え続けるよう全力を尽くしてまいります。皆様方におかれましても、本問題の是正・解消に向けたご理解とご協力のほど、何卒、よろしくお願い申し上げます。

敬具

鉄骨製作図問題の是正・解消に向けた要望
(連 名 書)

| | | |
|--------------------|-----|---------|
| 一般社団法人全国鐵構工業協会 | 会 長 | 永 井 毅 |
| 一般社団法人北海道機械工業会鉄骨部会 | 部会長 | 佐 藤 正 記 |
| 青森県鉄工連協同組合 | 理事長 | 三 浦 隆 宏 |
| 岩手県鉄構工業協同組合 | 理事長 | 佐々木 史 昭 |
| 宮城県鐵構工業協同組合 | 理事長 | 武 田 信 哉 |
| 秋田県鐵構工業協同組合 | 理事長 | 齋 藤 靖 |
| 山形県鉄構工業組合 | 理事長 | 村 山 功 |
| 福島県鉄構工業組合 | 理事長 | 渡 辺 勝 |
| 茨城県鐵構工業協同組合 | 理事長 | 安 達 次 雄 |
| 一般社団法人栃木県鉄構工業会 | 会 長 | 富 田 直 樹 |
| 群馬県鐵構業協同組合 | 理事長 | 大 竹 良 明 |
| 埼玉県鉄構業協同組合 | 理事長 | 伊 藤 敏 彦 |
| 協同組合千葉県鐵骨工業会 | 理事長 | 栗 原 宏 |
| 東京鉄構工業協同組合 | 理事長 | 吉 岡 晋 吾 |
| 神奈川県鉄構業協同組合 | 理事長 | 石 井 二三夫 |
| 新潟県鉄骨工業組合 | 理事長 | 秋 山 順 一 |
| 一般社団法人山梨県鉄構溶接協会 | 会 長 | 仲 山 一 仁 |
| 長野県鐵構事業協同組合 | 理事長 | 倉 科 賢 三 |
| 富山県鉄構工業協同組合 | 理事長 | 西 村 仁 |
| 石川県鉄骨工業協同組合 | 理事長 | 寺 田 健 信 |
| 福井県建設鉄工協同組合 | 理事長 | 前 田 正 美 |
| 岐阜県鐵構工業協同組合 | 理事長 | 青 木 一 郎 |
| 静岡県鐵構工業協同組合 | 理事長 | 柏 原 正 明 |
| 愛知県鉄構工業協同組合 | 理事長 | 大 島 嗣 雄 |
| 三重県鐵構工業協同組合 | 理事長 | 玉 木 信 介 |

| | | | | | |
|-----------------|-----|---|---|---|---|
| 滋賀県鐵構工業組合 | 理事長 | 木 | 村 | 昌 | 浩 |
| 京都府鐵構工業協同組合 | 理事長 | 柳 | 原 | 昭 | 弘 |
| 大阪府鐵構建設業協同組合 | 理事長 | 佐 | 野 | 勝 | 也 |
| 兵庫県鉄工建設業協同組合 | 理事長 | 出 | 雲 | 津 | 芳 |
| 奈良県鐵構建設業協同組合 | 理事長 | 内 | 藤 | 源 | 美 |
| 和歌山県鐵構工業協同組合連合会 | 理事長 | 三 | 宅 | 克 | 之 |
| 協同組合鳥取県鐵構工業会 | 理事長 | 倭 | 島 | 昭 | 博 |
| 協同組合島根県鐵構工業会 | 理事長 | 高 | 橋 | 伸 | 和 |
| 協同組合岡山県鐵構工業会 | 理事長 | 妹 | 尾 | 一 | 人 |
| 協同組合広島県鐵構工業会 | 理事長 | 山 | 本 | 泰 | 徳 |
| 山口県鐵構工業組合 | 理事長 | 益 | 田 | 和 | 男 |
| 徳島県鉄骨構造協同組合 | 理事長 | 近 | 藤 | 宗 | 利 |
| 香川県鋼構造協同組合 | 理事長 | 岡 | 崎 | | 巧 |
| 協同組合愛媛県鐵構工業会 | 理事長 | 登 | 尾 | 昌 | 弘 |
| 高知県鉄骨構造協同組合 | 理事長 | 伊 | 藤 | 進 | 矢 |
| 工業組合福岡県鐵構工業会 | 理事長 | 鶴 | 田 | 陽 | 一 |
| 協同組合佐賀県鐵構工業会 | 理事長 | 原 | 田 | 英 | 樹 |
| 協同組合長崎県鐵構工業会 | 理事長 | 岩 | 永 | 洋 | 尚 |
| 協同組合熊本県鐵構工業会 | 理事長 | 徳 | 永 | 博 | 章 |
| 協同組合大分県鐵構工業会 | 理事長 | 川 | 野 | 大 | 成 |
| 協同組合宮崎県鐵構工業会 | 理事長 | 鴨 | 林 | 昌 | 利 |
| 協同組合鹿児島県鐵構工業会 | 理事長 | 濱 | 崎 | 光 | 秋 |
| 協同組合沖縄県鐵構工業会 | 理事長 | 大 | 城 | 克 | 哉 |

「鉄骨製作図面問題の是正と解消を求めた要望活動について」

2024年4月22日、国土交通省、中小企業庁など行政や関係団体を訪問し、「鉄骨製作図面問題の是正・解消に向けた要望活動」を行いました。今回の要望活動には、全国の鉄構組合からも賛同を得ていることから、これを機に今後、協会として問題の是正に向けて全国展開を図りたいと考えています。

日本建設業連合会、全国建設業協会の建設関連2団体のほか、国土交通省、中小企業庁をそれぞれ訪問。もの決め工程の遅延や鉄骨製作図の手戻りによる業務量の増加など、鉄骨製作図の作成に関する諸問題について概要を説明し、その是正と解消に向けた要望書を全国47都道府県の正会員代表者の連名書と一緒に手渡し、全国の総意であることを伝えました。

以下、要望先のコメント

・国土交通省

要望書でおっしゃっていることは、その通りだと思います。

要望はしっかり受け止め、指導すべきことはしっかり指導します。

・中小企業庁

国土交通省と相談して、やっていきます。

・日建連

問題意識は我々も同じであり、解決に向けて一緒に取り組んでいきたい。

要望活動後の記者会見では、活動に至る経緯や目的などを説明。「2024年問題という課題に対して、休日の増加や賃金のアップなど業界全体で改革に取り組む必要がある。鉄骨製作図の問題もそうだが、契約における慣習も今の時代に合わせて認識を変えていかなければならない」と業界全体の改善を訴えました。

また、「2024年問題で行政や建設業界の取り組みが活発になっている。そうした時期に要望活動が行えたのはタイムリーだったと思う。全国展開に進む機会になることを願っている」と述べました。

※本件については、新聞各紙でも報道されています。